

2011年8月31日
宝印刷株式会社
株式会社野村総合研究所

宝印刷とNRIが共同でIR向けコミュニケーションサービスを開始 ～ ASPサービス「e-AURORA Xircle（イーオーロラ サークル）」で 機関投資家とIR部門の交流を支援 ～

宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、社長：堆 誠一郎、以下「宝印刷」）と株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、社長：嶋本 正、以下「NRI」）は、機関投資家・アナリストと企業のIR部門をつなぐ情報開示サービス「e-AURORA Xircle（イーオーロラ サークル）」を、2012年度から共同で提供することで合意しました。2011年秋から、試用版を無料で提供する予定です。

【企業情報をより効率的、効果的に機関投資家・アナリストへ】

このサービスは、「機関投資家・アナリスト」と「企業のIR部門」の双方を利用対象としたもので、ユーザが新たにシステムを構築せずに、ウェブブラウザ上で利用できるASPサービス※¹です。

機関投資家・アナリスト向けには、主に企業が開示する情報の有効活用に資する機能を備えています。最も特徴的なのは、調べたい企業の中期経営計画やESG報告書※²等における、企業価値評価に重要な項目を、データとして簡便に抽出・利用できる機能です。そのほか、決算発表や四半期開示直後にXBRL※³データを利用できる機能、過去の企業開示情報の検索機能や、企業の各種開示情報やIRコンテンツを一括でタイムリーに閲覧・取得できる機能なども備えています。

企業のIR部門向けには、「機関投資家検索」、「潜在投資家分析」、「情報ニーズ分析（足跡分析）」、「コンタクト履歴管理」などの機能が備わっています。IR担当者は、機関投資家・アナリストのプロフィールやファンドの運用方針、組入銘柄情報等を分析することで、自社の株式を保有する可能性の高い機関投資家を探し出すことができます。さらに、自社情報に対する機関投資家のアクセス状況から、自社の開示情報に対する外部のニーズを把握することができます。

さらに、機関投資家・アナリストと企業のIR担当者の双方から、個別ミーティングの調整・決定・管理が行える機能も備えています。

「e-AURORA Xircle（イーオーロラ サークル）」は、企業の情報開示・IR支援で実績のある宝印刷と、資産運用会社向けバックオフィス支援サービスや金融機関向け情報サービスを展開するNRIのノウハウを生かして開発されました。サービス対象は、資産運用会社・金融機関といった機関投資家、および、上場企業のIR部門で、料金体系は利用方法により変わります。

本サービスの開始後、企業の IR 部門を支援するサービスを順次リリースしていく予定です。また、機関投資家向けには、NRI の情報サービスや分析システムとの組み合わせ、個別機能の高度化、収録情報の拡充などにより、サービスの利便性をさらに向上させていきます。

※¹ASP サービス：サービス事業者が、インターネットを通じてビジネス用アプリケーションを提供するサービス。ユーザは、ブラウザを通じサーバ側のアプリケーションを動かして、サービスを利用する。

※²ESG：「環境、社会およびコーポレート・ガバナンスの問題」を意味し、海外機関投資家の投資の判断材料の一つになっている

※³XBRL (eXtensible Business Reporting Language)：各種財務報告用の情報を作成・流通・利用できるように標準化された XML ベースの言語

【宝印刷株式会社のお問い合わせ先】

宝印刷株式会社 営業企画部 青木

TEL：03-3971-3241 E-mail：s-kikaku@takara-print.co.jp

【株式会社野村総合研究所のお問い合わせ先】

●ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 瀬戸、川越

TEL：03-6660-8370 E-mail：kouhou@nri.co.jp

●サービスに関するお問い合わせ

株式会社野村総合研究所 金融 IT イノベーション研究部 中垣内

E-mail：xircle-business@nri.co.jp

【ご参考】

●「e-AURORA Xircle (イーオーロラ サークル)」の主なメニュー

①機関投資家向けデータ表示

機関投資家は、XBRL データをスプレッドシート（表計算できるセルが行と列で構成された表）に展開したり、特定の開示項目を検索することができます。また、各社で開示フォーマットが異なる非財務情報を、定型様式で取得できます。

②機関投資家検索

企業向けに、機関投資家および個々のファンドが公表する保有銘柄や、運用の方針、沿革といった分析を行う上で必須の情報を検索できるツールを提供します。さまざまな検索の切り口を使い、自社の株式を保有する可能性の高い機関投資家を探し出し、アプローチすることが可能です。

グローバルに機関投資家等のデータを保有する IPREO 社と提携、全世界の約 13 万件の機関投資家・アナリストの情報の検索が可能となります。

③情報ニーズ分析（足跡分析）

企業の IR 部門では、決算情報や、CSR 報告書、中期経営計画、ESG 報告書等を当サービス上に掲示し、機関投資家・アナリストのアクセス状況を分析することによって、機関投資家・アナリストが、自社情報のどの部分に興味があるかを把握することが可能となります。

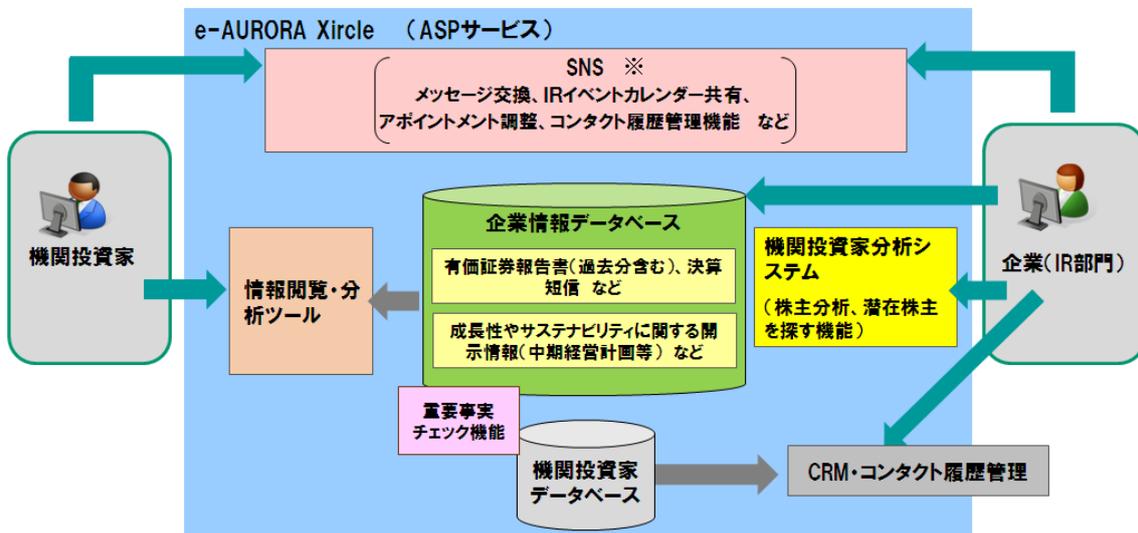
④コミュニケーション機能

機関投資家・アナリストが、関心のある企業の開示情報を閲覧し、多角的に分析した上で、その企業の IR 担当者にコンタクトすることができます。企業の IR 担当者は、自社情報にアクセスした機関投資家を把握することで、ミーティングの依頼・調整や、決算説明会のお知らせ等に活用できます。

⑤企業情報の収集・掲載のワンストップ化

機関投資家・アナリスト向けに、特定企業が発表した情報を集中的に閲覧することが可能な画面を提供します。企業の IR 部門向けには、決算短信や有価証券報告書だけでなく、中期経営計画書などの IR コンテンツを掲載する場を提供します。これにより、双方が、一つの画面上で便利に情報の収集や掲載を行うことができます。

● 「e-AURORA Xircle（イーオーロラ サークル）」のサービス概念図



※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、パッケージソフトを活用し高度な操作性を実現

● 「e-AURORA（イーオーロラ）」ファミリーについて

「e-AURORA」は金融機関の投資情報提供業務をサポートするサービスの総称です。証券会社や資産運用会社などの金融機関では、NRI の「IDS」など外部の投資情報サービスを利用しながら投資分析を行い、その結果を社内外にレポートとして発信しています。NRI で

は投資情報統合プラットフォーム「e-AURORA」を提供して、投資情報を扱う金融機関のさまざまなニーズに応えています。

詳細は、<http://fis.nri.co.jp/service/market/e-aurora.html> をご覧ください。